

闇鍋ブックカバー @ 横浜市立大学

☆学生LS☆

学生LS (ライブラリスト) とは、横浜市立大学の学術情報センター(学情)にて、有志でボランティアをしている学生団体です。私たちは日々、学生の立場から学情を盛り上げるための活動を行っています。主な活動は、学生の疑問や相談への対応、学情内での図書企画・運営、オープンキャンパス等の一般参加者への対応などです。また、不定期で「少年LS」という学生LSが作成する雑誌の発行も行っています。今回ポスターに選んだ闇鍋ブックカバーも学生LS 考案の企画です。



☆目的☆

私たちは本を手にする皆さんに、読書の新しい楽しみ方と自分が今まで知らなかった世界を見つけてほしいという想いからこの闇鍋ブックカバー企画を行いました。

☆結果・反省☆

結果 6月～9月の貸し出し合計は 14 回でした。夏休み期間中ということもあり思ったよりは貸し出されているという印象です。
反省 宣伝不足・目標の人数設定をしていなかったという点を踏まえ、次やるときはポスターの作成やツイッターでの宣伝、目標人数の設定をしていきたいです。

☆内容☆

闇鍋ブックカバーとは、作品のタイトルや著者名を隠し、冒頭文や学生LSの選んだ魅力的な一節のみが記された本を見て、本を選ぶというものです。そのためジャンルは全くわからず立ち読みもできません。直感的に自分の感性を頼りに本を手にとってもらうのがポイントです。またその場で中身を予想し、実際に読んだとき、そのギャップに驚くのもひとつの楽しみになります。本の裏側には感想カードが取り付けられているため、ネタバレしない程度に一言感想を記入できます。次の読者はそれも参考に本を選び…という形で、リレーのように同じ本を読んだ人同士でつながっていく仕組みになっています。



☆感想☆

- ①自分がおススメしたい本のフレーズだから、すぐに抜き出せる！と思っていましたが、これが中々難しい。これをきっかけに本を読み返し改めて言葉の一つ一つに注目して、よりその本に対する愛着が湧きました。自分の選んだフレーズが皆さんにどう受け止められているか想像するのも楽しいです。
- ②手に取った人がたっぴ一頁で興味を持ち、読みたいと思わせるような一節を選ぶのがとても難しかったです。物語の豊潤と最後は印象的な文書が多いイメージだったのでそこを抜き出してしまおうとネタバレになってしまおうかなと思ったので、物語の中盤の印象物かつその作品を象徴するような一節を抜き出しました。
- ③今までの「闇鍋」企画と異なり、1冊から気軽に手に取ることができるようになったので、たくさんの方に利用してもらえようと思ったのではないかと思います。

☆闇鍋ブックカバーに必要なもの☆

- 好きな本
- 文を印刷した、本を隠せる大きさの紙
- 感想カード
- 本を借りる時に必要なバーコード
普段はカバーに貼ってあるが隠れてしまうため
- グラシヤンペーパー
中身が見えないかつ文と感想が見られるように



☆スケジュール☆

5/10: 企画の提案
・以前より展示している「本の福袋」企画のリニューアルが目的
・各自で本の選定、ブックカバーのデザイン作成
6月上旬: ブックカバーの印刷、本への付属作業
6月中旬: 闇鍋ブックカバーの展示の開始

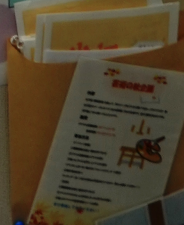
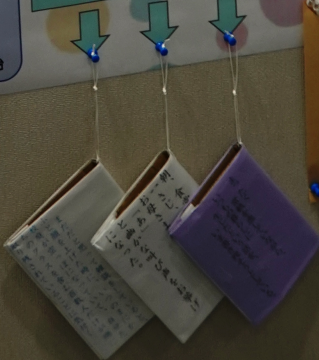
新企画

☆芸術の秋企画☆

芸術の秋企画とは、今開催中の来館者参加型の企画です。
①課題図書 (今回は山月記) または要約を読み、そのイメージを絵にして投稿 (10/26 締切・終了)
②①のイメージイラストの投票を行い、優秀作品決め (11/15まで)
⇒ランキング上位者には景品をプレゼント!!
同時に学生LS 不定期発行物「少年LS 芸術の秋」も発行しており、LSの活動内容や学情にある特集紹介、芸術の秋企画の詳細などが載っています。

「少年LS 芸術の秋」もご自由にお持ち帰りください。

ブックカバーの模物は下に立てかけてあるので自由に取ってご覧ください。



「本にだまらなくて読書をしていると、心に燃え上った瞬間に」で有名な本屋大塚堂の「本屋大塚堂」のロゴ

「本屋大塚堂」のロゴ

「本屋大塚堂」のロゴ

こんな本で読んでみて!

「本屋大塚堂」のロゴ

「本屋大塚堂」のロゴ

「本屋大塚堂」のロゴ